

ラクアの社会貢献活動

モンゴル砂漠緑化事業 支援プロジェクト①②

～ともに生きるよろこび～

『大草原の乳酸菌』がモンゴルの砂漠化をSTOP！



ラクアの社会貢献活動

【 理 念 】

しあわせな「共生」・「共創」の実現を目指します。

【 目 的 】

事業活動と社会貢献活動を通じて、社会的課題の解決に向けて取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

【 行 動 】

自然保護・環境保全・復興支援に努める



①売上の一部で砂漠緑化支援品を購入

【左】木になる塩 (250g)

天日湖塩75%+岩塩25%

【中下】大草原のはみがきこ (50g)

モンゴル岩塩+重曹+有機緑茶パウダー

【右】博多至福麺ラーモン (3人前)

モンゴル岩塩+かんすい+ラー麦=麺

【中上】バンベンのこれ一本 (40g)

モンゴル岩塩+山椒+その他調味料

支援品はお客様・お取引先様へ還元いたします。



【砂漠緑化支援パートナー】 Ban Ben (バンベン) 代表 坂本 毅 「塩を売って緑を植える男」

私が青年海外協力隊時代(91～94年) 3年間
過ごした地、内モンゴル・オルドス。内モンゴルと
いうと大草原というイメージがありますが、ここオ
ルドスは過開墾・過放牧などによって砂漠化が
進んでいました。「第二のふるさとを元の緑に
戻りたい!」「・・・そうだモンゴルの美味しい塩
を売って、その資金を砂漠緑化につぎ込もう!」
そう思いついたのです。内モンゴルの恵みを享
受し、砂漠緑化に貢献するプロジェクトが進行
中です。

● 詳しくは下記webページをご覧ください。

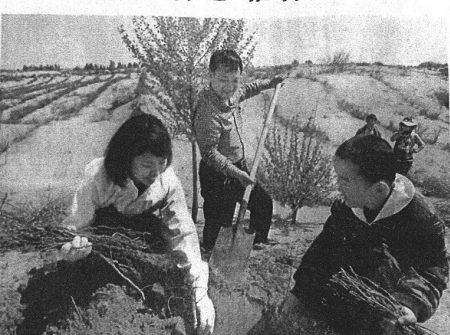
<https://www.facebook.com/banben.ordos/>

バンベン砂漠緑化のメディア掲載

2014年5月17日(土)毎日新聞一面

砂漠に緑を 植林10年

内モンゴルに根を張る



【本紙記者 松田典典】中国・北京から西約1000キロ、内モンゴル自治区のオルドス市。緑の森が広がる。ここは、日本企業「バンベン」が、10年前から毎年、約1000本の木を植えている。バンベンの代表取締役は、10年前から毎年、約1000本の木を植えている。バンベンの代表取締役は、10年前から毎年、約1000本の木を植えている。

仲畑流万能川柳

100点 招待席 富戸、ランバ、100点

ミスターの背番号までやってくれた

（4年）左から、富戸、ランバ、100点、ミスターの背番号までやってくれた

14版 2014年(平成26年)5月18日(日) 毎日新聞



緑を支える 大地の恵み

「この地は豊饒性が高く、肉や野菜のうまみを引き出します。中国・内モンゴル自治区にある塩漬棚場を訪れた福岡市の商社「バンベン」の坂本社長(48)は、現地の特産品である塩漬棚場の魅力を語った。

青年海外協力隊で09年から10年にかけ、同自治区オルドス市に駐在し、現地の砂漠緑化に取り組む故郷山正城さんに出会った。その志に感銘を受け、自分も緑化に取り組むことを決意した。

しかし、資金が調達できないという難関に直面する。山正さんは現地に記念像が建つほど人々の尊敬を集め、大勢のボランティアを動員した。「山正さんの

「この地は豊饒性が高く、肉や野菜のうまみを引き出します。中国・内モンゴル自治区にある塩漬棚場を訪れた福岡市の商社「バンベン」の坂本社長(48)は、現地の特産品である塩漬棚場の魅力を語った。

青年海外協力隊で09年から10年にかけ、同自治区オルドス市に駐在し、現地の砂漠緑化に取り組む故郷山正城さんに出会った。その志に感銘を受け、自分も緑化に取り組むことを決意した。

しかし、資金が調達できないという難関に直面する。山正さんは現地に記念像が建つほど人々の尊敬を集め、大勢のボランティアを動員した。「山正さんの

14版 2014年(平成26年)5月19日(月) 毎日新聞



砂漠緑化に一生関わる

「お前(先生)、乾杯しなさい。中国・内モンゴル自治区のオルドス市にあるレフトンで、モンゴル族の男性たちが次々に乾杯の声を上げる。同市の砂漠緑化事業を続ける福岡市の商社「バンベン」の坂本社長(48)と山正さんは、笑顔でアルコールを飲んだ。

集まったのは、坂本さんと山正さん、そして、彼らをサポートする日本人たち。彼らは、砂漠緑化に取り組むために、ここ数年、毎年、約1000本の木を植えている。彼らは、砂漠緑化に取り組むために、ここ数年、毎年、約1000本の木を植えている。

「お前(先生)、乾杯しなさい。中国・内モンゴル自治区のオルドス市にあるレフトンで、モンゴル族の男性たちが次々に乾杯の声を上げる。同市の砂漠緑化事業を続ける福岡市の商社「バンベン」の坂本社長(48)と山正さんは、笑顔でアルコールを飲んだ。

集まったのは、坂本さんと山正さん、そして、彼らをサポートする日本人たち。彼らは、砂漠緑化に取り組むために、ここ数年、毎年、約1000本の木を植えている。彼らは、砂漠緑化に取り組むために、ここ数年、毎年、約1000本の木を植えている。



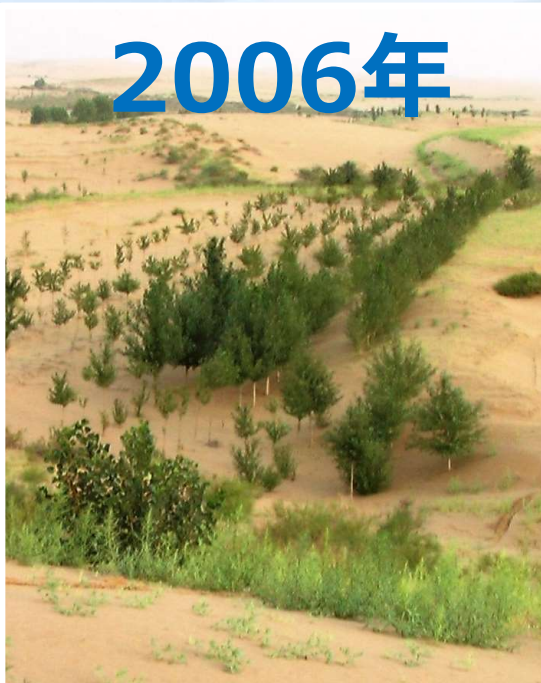
現地スタッフや
ボランティアによ
る植林活動の
様子

2005年



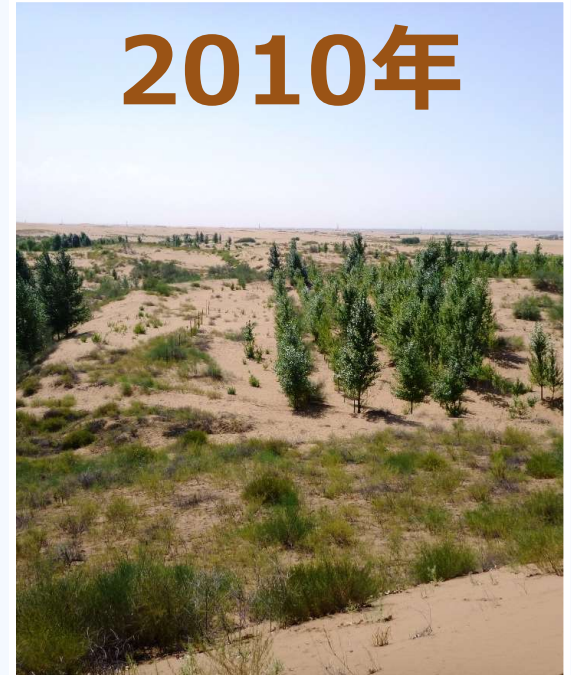
**砂漠化が進行中！
植林を実施**

2006年



**少しずつ緑が
増えてきました！**

2010年



緑化が進行中！

AFFORESTATION METER

 ラクア植林メーター  

【モンゴル砂漠緑化活動でのラクアの植林本数】

04615

2022年12月時点の
ラクア植林貢献本数



緑化Tシャツを着て
活動する若者たち



すくすくと育ちますように♪
そんな気持ちで植林しています。



みんなで力を合わせて植えました！



紫穂槐の苗。3年後にはこうなります！



植林の後は、支援者の名前とメッセージを載せたリーフを苗に括りました。





②売上の一部を モンゴルでの植林へ還元

左記の証書は、地球温暖化防止に貢献したことを証明しています。

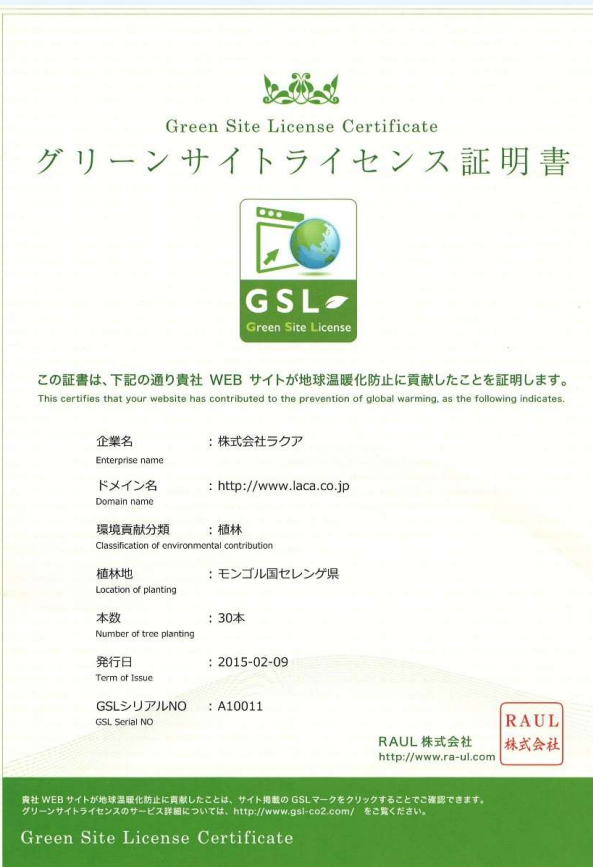
【植林地】 モンゴル国セレンゲ県・東南アジア等

【本数】 60本

【証明発行日】 2015年2月 9日

2018年2月14日

ラクアは自然エネルギー活動を支援するGSL（グリーンサイトライセンス）に参加しています。
GSLは「グリーン電力」「植林」「国連認証排出権」の3つの環境貢献活動から支援する活動を選択することができる団体です。





「ともに生きるよろこび♪」 お客様とともにできる社会貢献

皆様のご協力感謝いたします。

